



MEIKAI
UNIVERSITY

2009年12月20日発行
編集/会報発行担当
発行/浦安キャンパス同窓会
TEL.047-355-5112 FAX.047-355-2871
URL <http://www.meikai.com/>

明海大学 浦安キャンパス 同窓会 報

第15号
2009.12
December

新春対談

大学時代がくれたもの

若者に伝えたい思い

同窓生。パンツエッタ・ジローラモ氏と語る

学生時代に気づいて行動する大切さ、そしてその経験が、どれだけ自分の成長の糧になっていたのか。「社会人になって初めて見えることがある」と、同窓会・北原淳会長とジローラモ氏が熱く語る。



大学時代を振り返る

北原淳会長（以下、北原） ジローラモさんは僕が4年の時の新入生でしたよね。当時、ヨーロッパ系の外国人は少なかったから目立っていました。かっこよかったです。ジローラモさんから見ただけの印象はどうでした？

パンツエッタ・ジローラモ氏（以下、ジローラモ） イタリアの大学を卒業してから日本に来て、24歳で明海大に入学したので大学の在り方の違いにかなり驚きましたね！

北原 どんな風に違いましたか？

ジローラモ イタリアで大学といえど、とにかく専門的なことを学ぶ場所です。勉強とスポーツの両立は難しい。明海大のキャンパスでは空手着に下駄で歩いている人がいてビックリ。

北原 なるほど。僕は陸上をやっていたから、勉強よりも「走る」学生

生活だったけどそれってイタリアではありえない？

ジローラモ そうですね。イタリアではスポーツを専門にする人は大学ではなく別の道に進むかな。そういう意味で日本の大学はキャバが広がって。文武両道が実現できる。

北原 当時、ジローラモさんが大変だったことってなんでしょう？

ジローラモ とにかく目立っていたから授業に欠席できなかったことかな（笑）。それに「イタリア人は女だったらし」と思われていたみたい。

北原 そんな偏見もあったかもしれないけど、ジローラモさんが在学中にやったチャリティーサッカー試合は大成功でしたね。

ジローラモ そう！チャリティーで300人以上を動員して50万は寄付できました。大学のグラウンドを4つに分けてゴールも借りてきて、すごいイベントでした。でも片付けは友だちとたった2人でやることになって大変でしたよ。

北原 それはすごい噂で聞きました。だからこそ、僕はジローラモさんに興味を持ったんです。すごい人だな！って。い

TOPICS

同窓会パーティーレポート	4面
恩師からのたより	6面
経済学部長	下田直樹先生
外国語学部教授	山岸勝榮先生
不動産学部教授	中城康彦先生

好きなことを思い切ってやってみようよ (北原)

いろいろ体験したと思うけど、在学中に「勉強になったな」と感じたのはどんなことですか？

北原 たとえば？

北原 社会で生き残っていく術。試験の時に誰の近くに座ったらいいか…とか(笑)。まあそれは置いて、ピッチの時にどう行動すべきかっていう実践能力を養ったっていうのかな。

北原 社会勉強をしたと？

北原 社会勉強をしたと？

北原 具体的にどんな学生生活を？

北原 それは僕もやりましたね(笑)。

北原 それは僕もやりましたね(笑)。

北原 それは僕もやりましたね(笑)。

北原 それは僕もやりましたね(笑)。

北原 それは僕もやりましたね(笑)。

プールや図書室にもずいぶん通いました。そういえばイタリアの学校とのサッカー交流で通訳をやったりもしましたね。

同窓会としてできること

北原 僕は一期生だったから先輩もいなかったし、すべてが手探り状態で大変だったんですよ。だから、今の学生たちにOB・OGとして何かできないか？と常に思っているんです。

北原 今年初めて「夢プロジェクト」という企画事業をやったんです。在校生の夢を叶えるお手伝い。自分たちの前でプロジェクトをプレゼンテーションしてもらい、最優秀のグループに百万円を支援したんですよ。

北原 僕もいろいろ！ きっかけを作ったあげてるんですね？

北原 今の学生に夢のある生活をしてほしいと思って。本当はできるのに、やり方が分からないとかあるじゃないですか。だから僕らが導いてあげたい。その一つの表れかな。今年は4組だけの応募だったけど、もっと積極的に参加してほしいですね。

北原 それは、僕の大学時代にあって

北原 それは、僕の大学時代にあって

北原 それは、僕の大学時代にあって



北原 淳 Jun Kitahara

明海大学1期生
外国語学部日本語学科卒
2004年より同窓会会長。埼玉県在住。

支部レポート

明翔会の活動について

H T 学科支部「明翔会」理事 田口淳士

明翔会は在学生との交流を保ち、同窓会を今後につなげることを目標に掲げて活動していきます。活動予定としては、「設立記念パーティーの開催」、「後輩の行う行事への支援」、「同窓会の定期的な開催」を考えています。

後輩たちへの支援は、後輩との交流、繋がりを持つために行います。在学生たちにも、自分たちが学部・大学の今後を担うのだという意識を持ってもらう機会になればと思います。

同窓会を定期的に行う理由としては、まずは情報の共有、お互いの関係を保つこと、そして、違う業界の人と苦楽を分かち合うことで自らの職へのモチベーションに繋げる、最良の場とすることが挙げられます。

この学部を卒業したことを誇りに思い、その後の人生を謳歌していただける環境づくりをサポートすること、それが明翔会の目指す姿です。

* * *

今の大学生に伝えたいこと

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？

北原 先ほども夢の話が出ましたが、学生時代に夢はありましたか？



イタリア料理コチネッラ (目黒区青葉台 1-27-12) <http://www.kikkos.net/>

できることはどんどんチャレンジしましょうよ (ジローラモ)



パンツェッタ ジローラモ Panzetta Girolamo

明海大学4期生 経済学部経済学科卒
エッセイスト。イタリア・ナポリ出身。1962年9月6日生まれ。建築一家の三男として、ナポリ建築大学在学中に亡き父の後を継ぐ。主に政府からの依頼を受け、歴史的建造物の修復にたずさわる。1988年から日本在住。以降、多数雑誌、番組などで祖国イタリアについて紹介。2006年、本国より騎士の称号「カバリエレ〜イタリア連帯の星勲章」を贈られる。(ブログ <http://www.leon.jp/>)

組織の成長を実感

中国語学科代表 川島信一

中国語学科では、支援項目を3点に絞り活動を行っています。HSKへの支援は今年から年3回すべての試験を支援の対象とし、中国語の生涯学習とキャリアアップを支援しています。

旧正月の時期にあわせて来年も交流パーティーを開催いたします。

また2009年からこれまで企画倒れだった在学生への講演会も11月14日(土)に実施し、設立時に立てた計画を無事実施することができました。小さい組織ながらも確実に成長していると感じています。

* * *



同窓会パーティーにウエルカム! 1年に1回、大学に帰ってくる日 2009年度 浦安キャンパス同窓会パーティー

今回で18回目となる浦安キャンパス同窓会パーティーが、11月3日(祝)に30周年記念館の学生ホールで開催され、同窓生や教職員など約500人が参加した。同窓生が2万人を超え、年々参加者が増えていることから、会場をこれまでのレストランニューマリンスから学生ホールに移し、料理はヒルトン東京ベイのケータリングサービスを利用。子ども連れでも参加しやすいように、キッズルームを設けたり子どもたちにプレゼントを用意したりと、主催側の配慮が感じられるアットホームな雰囲気、盛大なパーティーとなった。

まず、北原淳会長が「今年3月にHT学部から卒業生が出ました。同窓会パーティーにウエルカム! 歓迎します。今日は短い時間ですが楽しんでいってください」と開会の言葉を述べた後、来賓を代表して小泉允園副学長が「皆さんお久しぶりです。厳しい時代ですが、明海大学の卒業生として胸を張って広く社会で活躍してください。皆さんの頑張る姿が、後輩たちに勇気を与えます」とスピーチ。そして、地下和弘事務局長の乾杯の発声でパーティーがスタートした。会場では、恩師を囲んだり、同期生、サークル、ゼミなどの仲間を見つたりして、楽しい歓談のひとときを過ごすグループがたくさんできていた。



▲1期生です!



▲こんなに大勢がいる中で1等が当たってしまいびっくりです。今回、この同窓会に誘ってくれた友人に感謝です。



▶ホテルの料理に舌鼓



▲山岸勝榮先生(英米語学科)のゼミのOBの皆さん、連絡をください。



▲抽選を行う司会の天野さん(左)と北原会長(右)

出席した先生方(敬称略)

【外国語学部】
学部長/原口庄輔
教授/市川桃子、魏鍾祺、ジェシーグラス
准教授/マイケルオーラー、鶴島俊一郎
講師/石黒武人、サムエルギルダート、西川寛之

【経済学部】
学部長/下田直樹
教授/朝日讓治、工藤宜延、佐々木康史
准教授/嶋根政充、宮崎礼二
講師/岡村龍輝、永井政治、宮崎毅

【不動産学部】
学部長/林亜夫
教授/小泉允園、齋藤千尋

【HT学部】
学部長/草野健
教授/市川重雄
准教授/中井延美

途中、ヒルトン東京ベイのペア宿泊券や東京ディズニーリゾートのペアチケットなど豪華景品が当たる抽選会が行われ、当選番号が発表されると、会場から大きな歓声があがっていた。初めて司会を務めた役員の大野宏彦さん(17期生)は、「予想以上の参加がありました。ここに来れば同期生に会えますので、この機会を活用してください」と、北原会長は「同窓会としていろいろな事業を展開していますが、年一回、みんなに会えるこのパーティーは提供し続けていきたい」と話していた。

同窓会の支援事業

新事業 同窓会が夢の実現をバックアップ!!

「夢プロジェクト」で学生がプレゼン

現役学生に夢を実現するチャンスをプレゼントしようと、同窓会が「夢プロジェクト」を立ち上げた。最も優秀なグループに上限100万円の支援を行う。浦安キャンパスの学生5名以上のグループで、指定期間内に完了する独自のプランであることなどの条件があるが、内容は学内外の活動、地域活性化、起業など何でもOK。

9月1日からプランを募集し、書類選考を経て、11月3日に学内で審査会が行われた。今回は4組のグループが、目的やスケジュール、予算などをプレゼンテーションした。審査を経て12月12日に結果発表。今回は、HT学科・不動産学科の有志「ROUTE16」が提案した「Project 和香」が合格した。今後、国内の観光地を取材してガイドブックを制作し、韓国で開催される旅行博で日本をPRする。代表の鈴木勇太さんは、「採用をいただきありがとうございます。精一杯頑張りますのでよろしくお願ひします。同窓会HPでアンケートを行っておりますのでぜひご協力を」と呼びかけている。「大学や学生を元気にしたい」と立ち上げたプロジェクト。予想していたより学生たちの提案がしっかりしていたし、問題意識を理解できてよかった。来年はもっと多くの学生にチャレンジしてほしい」と北原会長。 ※詳しい記事は同窓会HPで公開中



第22回 明海祭

2009年11月1日～3日に行われた明海祭。「ピース」をテーマに、パレードやお笑いライブ、フリマ、模擬店、抽選会、音楽ライブや講演会と、曇天にもかかわらず、多くの近隣住民が足を運ぶ姿が見られた。

学友会 サマーキャンプ

2009年9月1日(火)2日(水)に、栃木県で学友会サマーキャンプが開催され、学生や留学生、教職員など230人が参加。立場を超えて意見交換を行った。

2009年度 同窓会代議員会

2009年5月9日(土)、浦安キャンパスで2009年度同窓会代議員会が開催された。まず北原淳同窓会長から、大学の同窓会事業への支援・協力に対しての謝辞が述べられた。続いて、鈴木洋州学生支援課長から大学の近況報告があった。

議事に入り、2008年度事業報告及び決算報告、次いで2009年度同窓会理事と代議員が選出され、いずれも承認された。また2009年度事業計画(下表)及び予算案は賛成多数で承認された。会長から新たな試みとなる「夢プロジェクト」を説明、引き続き「体育会への援助」、「就職支援への協力」についても継続していく方向となり、大学と一体となりサポートすることが確認された。

事業項目	目的	事業内容
広報	同窓会からの情報発信を通じて、同窓会活動及び大学の現状を広く会員に伝達すると共に、会員の情報を収受し母校の発展に寄与する。	・会報発行(年1回) ・リーフレット作成 ・会員データの更新 ・管理・同窓会ホームページの更新・管理
連絡会	地区連絡会の開催を通じて、会員相互の交流を深め同窓会の活動基盤の強化を図る。	・地区連絡会開催(4地区)(東北/北陸/東海/近畿)
支部	支部組織の拡充支援を行い、同窓会の活動基盤の強化を図ると共に母校の発展に寄与する。	・既発足支部の活動強化 ・新支部発足準備支援
企画	会員に対する平等なサービス・支援を行い、同窓会事業に対する理解を深めてもらう。	・同窓会パーティーの開催 ・記念事業の継続 ・学園祭参加団体表彰
財務	同窓会の安定的な財源の確保を図り、運営基盤を強化する。	・同窓会の法人化に向けた調査・検討を行う。
学生活動支援	準会員である在学生の様々な活動支援を図り、同窓会活動に対する理解を深めると共に、大学の発展に寄与する。	・就職活動支援 ・課外活動支援



外国語学部



経済学部



不動産学部



HT学部

極めて大きな試練を与えています。緑風会では「中期行動計画」を策定し、「強力な組織力の構築と緑風会ブランドの確立」というスローガンを掲げ、不動産緑風会(卒業生間の情報交換会)や宅建取得のための緑風塾など、多彩な事業を展開しております。

極めて困難な時局ではありますが、卒業生同士が協力し合い、この難関に立ち向かうことで、将来の展望が切り開かれるかと考えます。会員の皆様におかれましては、ホームページ等をご覧のうえ、緑風会の活動にぜひご参加いただき、今後の発展の一助になればと思います。

多彩な事業を展開

不動産学科支部「緑風会」代表 渡辺孝之

昨年来の世界同時不況は、わが国の不動産関連業界に大きな影響を与え、ともに、われわれ不動産学部の同窓生にも

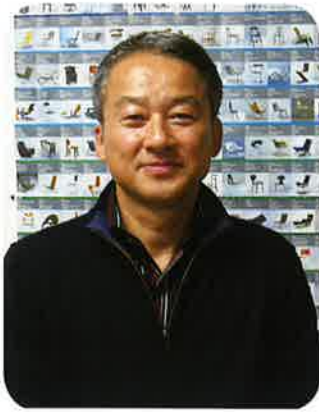
2009年5月9日、浦安ブライイトンホテル東京ベイにて「明英親睦パーティー」を開催しました。前年同様、60名を上回る皆様にお集まりいただき、限られた時間でしたが、級友や恩師との近況報告や情報交換などができました。

11月14日には「効果的な授業創りを目指して」をテーマに、「明英英語教育セミナー」を開催し、田中典子先生より言語学の観点や教育実践からご講演をいただきました。昨年同様、大勢の参加者による活発な意見交換を行いました。

クリスマスには温かいメッセージやデザインとともに英米語学科卒業生の皆様へ、毎年恒例のカードをお届けしました。今年度末には一年間の活動報告を中心としたニュースレターの配信を予定しています。多くの方々を支えられながら4年間を過ごしてきた明英ですが、皆様のご協力を引き続きよろしくお願い致します。



明英4周年、更なる飛躍を 英米語学科支部「明英」代表 志村典英



私は第一期生が卒業した翌年度の1996年に不動産学部に着任しましたので、在職は今年で足掛け14年になります。1期生以外は浦安キャンパスで同じ時を過ごし、大学から巣立っていく姿を見送ってきました。教員にとっても卒業式は大変晴れやかなもので、「先生、写真一緒に撮ろっ！」と誘われ撮った年々の写真をみるにつけ、卒業生の皆さんが、それぞれの立ち位置で、力一杯生き抜いていることを思います。社会の荒波の中で、生き抜くために必要な何かを、在学中に与えることができていたとすると、教員としてそれ以上の喜びはありません。

つい2年前まで恵まれていた就職戦線に異常があり、昨今の就職活動は困難を極めています。比較的恵まれた状況下で職を得た年次の卒業生も、昨今の経済情勢を受けて、仕事の環境が厳しく、試練の時を過ごしているかもしれません。

試練の時こそ応用力で対応を

不動産学部教授 中城康彦

ともかく変化の激しい時代になりました。うかうかしていたら船から放り出されてしまいそうな破天荒が、予兆もなく訪れる、そんな印象があります。そんな時こそ、生きる力が問われます。例えば不動産学部では、法学、経済学、工学を学際的に学んでいます。社会を複眼的に見て多様なソリューションを考える素地を持っています。性格の異なるいくつかの資格を持つことも生きる力を高めることでしょう。「苦あれば楽あり、楽あれば苦あり。」長い人生には順境もあれば逆境もあります。これからの社会では、社会の変化に対応し、さらには逆境を順境に変える、応用力が今までの比較にならないくらい強く求められます。

応用力をもたらすものは、基礎力と多様な視点です。実務家としての経験をいかに学生に伝えるか、すなわち応用力をそのまま伝えることに腐心した着任当初と比較すると、昨今では、いかに基礎に引き戻して伝えるかに力点を置くようになりました。大学人としての経験と社会がそのような結果をもたらしたように思います。

卒業生も、社会人としての経験を重ねるにつれ、応用力で勝負する場面が増えることと思いますが、迷った時は大学で学んだ何かを思い出してください。いつまでも応援しています。

会計報告

セキュリティの関係上、ホームページには公開いたしません

コラボレーション(協働)で、さらに素敵な明海大学を!

経済学部長 下田直樹



卒業生・同窓生の皆さん、お変わりなく元気にお過ごしですか。明海大学も浦安キャンパスが開設(増設)されて今年で21年を迎えました(坂戸キャンパスは39年)。

思えば、開設当初の4、5年は本当に何も無い状態の中で、あたかも白地のキャンパスに油絵を描いていくように、皆さん一人ひとりが自分たちなりの学内組織や学風を創っていくのだという自負と気迫に溢れていましたね。伝統やしきたりがないことは一面では自由を意味しますが、反面、一からすべてを創り出さなければならぬという「生みの苦しみ」を経験することでもありました。

しかし皆さんは、持ち前の明るく前向きな姿勢で、今日に繋がるたくさんものを創っていかれました。明海大

学の建学の精神のキーワードの一つは「創造性」ですが、皆さんはそれをも実践していたように思います。今の明海大学の多くは、同窓生の皆さんが創造してきた礎の上にあることを実感しています。ありがとうございます!

私たち教職員の使命はまさに学生と一体となってこれらを守り発展させていくことだと考えています。近年、大学を取り巻く環境も厳しくなっています。学生たちの気質もだいぶ変わってきました。しかし私たちは、皆さんが「卒業してよかった!」と思える大学にするため、これからもがんばっていきます。

皆さんも現在、地域で、そして職場で、また社会で、新設校ゆえのハンデに悩みながらも日々奮闘し、着実に地歩を固めていることと確信しています。仕事等があるのでいつもは難しいでしょうが、折に触れ母校である明海大学のことを思い出し、遊びにきてください(何をしても遊ぶかは、また別に考えましょう)。そして大いに「先輩風」を吹かせてください。後輩である学生たちにとってもよい刺激になるはずですよ。私たちも明海カラーを持った学生を育て、どしどし社会に送り出していきます。コラボ(協働)で明海大学をさらに素敵な大学に育てましょう!

恩師からのたより



E・W・ウイルコックス(1850-1919)が書いた詩の一篇に「運命の風」というのがある。次のようなものだ。拙訳で紹介する。

同じ風を受けていながら
一隻の船は東に進み、別の船は西に進む
行き先を決めるのは
疾風(はやて)ではない
それは帆の張り方なのだ
人生航路を進む時
運命の道は海風に似ている
ゴールを決めるのは
風(なぎ)でもなければ風でもない、
それは魂の構え方なのだ
解説は不要だろうが、人生で大切なことは、要するに、「魂の構え方」なのだ。学生時代に初めて触れた一篇だが、当時、これを読んでハッとさせられた。

もう一篇、同じく学生時代に知った詩に、R・W・エマソン(1803-82)の「成功の秘訣」というのがあり。「成功」と言えば、私たちは、富

人生の道しるべとしての詩句

外国語学部教授 山岸勝榮

や地位に恵まれることを連想しがちだが、ところが、エマソンのこの詩を読むと、「これなら私も『成功者』の一人になれるぞうだ」という思いを抱くことができる。同じく拙訳で紹介する。

しばしば、そしてたくさん笑うこと、
知的な人々に尊敬され、子どもたちから愛されること、
正直な批評をしてくれる人に評価され、
偽りの友の裏切りに耐えること、
美しいものを理解し、他者には最良なるところを見つけ、
死ぬまでに、健全な子を一人でも、小さな花園を一つでも残したり、
社会の条件をわずかも改良したりして、世界をほんの少しでも良いものにする

あなたがいてくれたお陰で心安らかにいられたという人を一人でも知ること、これが成功したということなのです。

私は英語の教師であるから、英語圏の詩人(両者共アメリカ人)のものに触れる機会が多いが、私たちの周辺には、こうした「人生の道しるべ」になり得る文句を探すことのできる詩や名言の類いが数多くある。ちなみに、かのドイツの詩人・ゲーテも、「偉大とは、正しく平凡な生活を営むことである」と言っている。

本学の卒業生諸君には、折に触れてこうしたものに出合い、「帆の張り方」を工夫したり修正したりする時の「よすが」にしてほしい。

未来の自分を見つけよう!

『キャリアビルディングセミナー』

2009年11月3日～5日、学内で『キャリアビルディングセミナー』が開催され、41人の学生が参加した。これは「同窓会が主催した事業で、今回が初開催。人材育成の専門家のもと、学生たちは自分の人生のビジョンを伝えるスピーチを朝から晩まで猛特訓した。

最終日は、友人や家族などを招き、プレゼンテーション。仲間の励ましを受けて熱い思いを伝えるうちに、大粒の涙をこぼす学生の姿があちこちで見られた。「本音が出せたときにどンドン言葉が出てくる。その瞬間がわかりました。就職氷河期だからこそこういうセミナーに参加しようと思ったし、参加できてよかったです」と参加した学生(HT・3年)。



と参加した学生(HT・3年)。

同窓会から楽器を寄贈

ジャズオーケストラ部

2009年4月に発足したジャズオーケストラ部に対し、同窓会からコントラバス、ドラムセット、電子ピアノなどを寄贈。教育後援会から寄贈されたグランドピアノと合わせ、5人の部員が熱心に練習に励んでいる。

指導にあたっては、世界的に活躍するジャズピアニスト・椎名豊さん。顧問・本間勝先生は「日本の大学のなかで最もジャズが盛んな学校を目指して、学内あげて取り組んでいきたい」と話していた。

9月には特別演奏会が開催された



空手道部

2009年度体育会空手道部は多くの新入生を迎え、過去にない成績を残しました。第20回関東学生体重別選手権大会(男子-67kg級)では創部以来、初の関東チャンピオンを輩出し、第52回関東学生選手権大会(団体戦)でも、大正大学に勝利、優勝した帝京大学に敗れたものの2年連続関東ベスト8に入るなど、強豪校の仲間入りを果たしました。

第53回全日本学生空手道選手権大会では、男女共に出場しましたが、男子に関しては2回戦で九州チャンピオンの福岡大学と対戦し、主将の形部修士の活躍もあり、みごと福岡大学に勝利しました。続く3回戦、前回(関東大会)の雪辱を晴らすべく臨んだ帝京大学戦では、接戦の末に敗れはしたが、堂々とした戦いは見るものに感動を与え、全日本学生選手権大会で初のベスト16と次年度に繋がる内容となりました。

来年度は関東ベスト4、全日本ベスト8と、新たな目標を掲げ、更なる飛躍の年にしたいと思っております。

(監督 上妻 優介)



2009年

体育会の活躍

サッカー部

創部から22年目を迎え、今年から監督・コーチ・GKコーチはOBとなり、今まで以上に明海カラーが色濃くなりました。千葉県大学サッカーリーグ春季戦・秋季戦を共に無敗で優勝し、今年でリーグ3連覇を成し遂げました。関東大学サッカー大会においては、予選3試合を全勝し、満を持して迎えた昇格決定戦でしたが、関東学院大学に0-3と敗北し、創部以来の悲願である関東リーグ昇格はあと一歩のところまで果たすことができませんでした。

しかし今年には多くのOB・OGの方が観戦に来てくださり、またいろいろの方々から問い合わせもいただき、非常にありがたく思っています。今後はより多くのOB・OGの皆様へ状況提供ができるよう、ホームページ開設を目指してまいります。2010年こそは悲願を達成し、皆様とともに喜びを分かち合える年となるよう頑張ります。

(監督 八津川 義廣)



ヨット部

11月15日、稲毛ヨットハーバーで行われた第9回千葉県大学生ヨット選手権大会で、昨年に続いて総合優勝を果たしました。この大会は千葉県セーリング連盟の公式戦で、県連加盟校のうち本学をはじめ5大学が参加。レースは各大学3艇出場し、2レース行われ、1位、2位、3位を独占。連覇を達成しました。

11月19日から23日までは福岡市ヨットハーバーで国内最高峰の大会である第38回全日本470選手権大会が行われました。本学からは関東代表として3艇6人が、また金子晃也選手が愛知工業大学の選手とペアとなり中部代表として出場。上位10チームが出場できる決勝シリーズへの進出とはなりませんでしたが、1年生主体の編成で、一流の選手と競い合ったことは今後の糧となると感じています。

(監督 國府田 由隆)



編集委員 一ぼれ話

熊沢基之…2009年の同窓会事業を振り返って、思い出すことと言えば?

磯見隆行…今年初めて、学園祭の参加団体表彰で審査委員になったことですね。

「劇団明海」の演劇、題はこう(「夢カシ花シ」)書くんですけど、読めますか?

熊沢…難しいな。あ…ムカシバナシ!

磯見…演技に熱が入っていて、一体感もあって、観ていておもしろかったですよ。

でも全体的には文化団体が活動・発表する場が少ないように感じました。もっと彼らの輝ける場所があつていいのでは。

熊沢…その点、夢プロジェクトはこれから期待が持てますよね? 職員として働いている私たちがもっとPRしていかないといけないなと強く感じましたね。

ところで、来年度の磯見さんの抱負は? 磯見…この会報で、同窓生の皆さんに大学の現状や各支部活動等を知って帰属意識を持ってもらい、パーティーにも積極的に参加してもらえたらうれしいです。

熊沢…そうですね。編集者としてはそこにやりがいを感じますよね。あとは、皆様からのご意見も励みになります。

—2010年も同窓生皆様にとつてよい年でありませう、強く願っています。そして、またこの会報でお会いできることを楽しみにしております。

◆住所変更は お忘れなく!

一人暮らしをしていて、お引っ越しをした際に同窓会事務局への住所変更を忘れ、「住所不明」になってしまった同窓生の方が多くいらっしゃいます。その際、ご実家宛に「会報」等を送付させていただきます。もし、ご実家に届きましたら、ご本人に住所変更をするようお伝えください。